



第13回 済生会生活困窮者問題シンポジウム

ヤングケアラー 問題を考える

新たなヤングケアラーを生まないための予防策

日時

令和6年
5月25日(土)
13:00~16:30

申し込み
方法

FAXまたはメールもしくは
申し込みフォームから受付
※参加申し込み・フォーラムの趣旨につきましては裏面をご覧ください。

会場

かがわ国際会議場
〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー タワー棟6階

入場無料

定員**200名**
(当日参加も可)
どなたでも参加可能



開会挨拶 社会福祉法人^{香川}済生会 理事長 **炭谷 茂**

来賓挨拶 高松市長 **大西 秀人氏**

基調
講演

ヤングケアラーを生まない社会に向けて -予防的ヤングケアラー支援の重要性-

島根大学法文学部 法経学科 教授 **宮本 恭子氏**

高松市出身 / 専門: 福祉経済、社会保障政策 一般社団法人ヤングケアラーサロネットワーキ代表理事



シンポジウム

コーディネーター

社会福祉法人^{香川}済生会支部
香川県済生会 支部長

一井 眞比古

●香川県子ども女性相談センター 次長
児童福祉司・公認心理師 **藤原 誠氏**

ヤングケアラーについて
-子どもが子どもらしく生活できる
環境作りに向けた支援機関連携-

●高松市健康福祉局
こども女性相談課 課長 **藤澤 晴代氏**

高松市のヤングケアラー支援

●香川スクールソーシャルワーカー協会 会長 **岡本 久二代氏**

**スクールソーシャルワーカーの
ヤングケアラー支援とその課題**

●千斗枝グローバル教育研究所 代表 **山中 千枝子氏**

学校と地域に問われていること

主催

社会福祉法人^{香川}済生会支部 香川県済生会

後援

香川県、香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会、香川県社会福祉協議会、高松市社会福祉協議会、香川県医師会、香川スクールソーシャルワーカー協会、四国新聞社、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

フォーラム開催趣旨

近年、ヤングケアラーが社会問題として取り上げられ、各方面から支援の動きが活発となっています。ヤングケアラーの支援については2024年に法制化される見通しとなり、今後一層福祉・介護・医療・教育等関係機関の連携が求められると予想されます。ヤングケアラーが増加した背景には、核家族化や地域のつながりの希薄化、高齢化など社会の構造的な問題があるとされています。

支援が必要であっても実態やニーズが表面化しにくく、家庭が社会から孤立していることも少なくありません。どんな境遇であっても、子どもが子どもらしく心身ともに幸せでいられる社会を作るため、私たちにできることをみなさまと一緒に考える機会になればと思います。



アクセス方法

かがわ国際会議場

〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー タワー棟6階

●電車でお越しの方

- ・JR高松駅から徒歩3分
- ・ことடன்高松築港駅から徒歩5分

●航路でお越しの方

- ・高松港フェリー乗り場から徒歩5分

●空路でお越しの方

- ・高松空港からことடன்高松空港連絡リムジンバス
JR高松駅行きで約40分

●お車でお越しの方

- ・高松自動車道高松西ICおよび
高松中央ICから車で20分



●駐車場(有料)に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

参加申込書

下記必要事項をご記入のうえ
FAXまたはEメールによりお送りください。

申込み期限
5月10日(金)

当日参加も
OKです!

●支部、施設、団体名		●電話番号またはEメール	
●参加者	所属・職名	氏名	
●参加者	所属・職名	氏名	

お申込み

Eメール

chiren@saiseikai-kagawa.jp

FAX

087-868-9563 (地域連携室)

フォーム

Google申し込み
フォーム▶



問い合わせ先

香川県済生会病院 地域連携室 TEL:087-868-9569